

平成26年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	三ツ井芳恵
		全体計画				経費区分		-		内線	245-0407
事務事業名	4313 博物館管理運営事業										
所 属	130500 市民共創部・生涯学習スポーツ課										
施 策	04012000 生涯学習・文化芸術を核としたまちづくりの推進										
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	100604 教育費・社会教育費・博物館費									
	事業	020000 博物館管理運営事業									
事業目的						事業概要・効果					
貴重な文化財を広く展示公開し、市民の学習に資する。 須坂市の歴史、文化財について調査研究を進める。 各種講座等を開催して、生涯学習に対する多種多様な 市民ニーズに応える。						資料の収集・保存及び調査研究を行うとともに、特別 展をはじめとする展示活動や各種講座・講演会などの 事業を推進し、市民の生涯学習の場とする。 また、全市をフィールドとした「どこでも博物館」の 活動を推進するため、博物館ボランティア会とともに 活動をすすめる。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
特別展（露伴、茂吉、寅彦、小林勇）入館者数 1,729人 館外企画展示「須坂きのこ展」 入館者数 567人 特集展示（堀家の雛人形など） 入館者数 871人 第1回八丁鎧塚まつり 参加者数 1,650人 臥竜山たんけん（全9回） 延参加者数 188人	特別展（築かれた竜ヶ池） 入館者数 1,328人 館外企画展示「須坂きのこ展」 入館者数 520人 特集展示（堀家の雛人形など） 入館者数 1,905人 県安心子ども基金活用の講演会 参加者数 290人 社会資本整備総合交付金事業 まゆぐら改修工事
平成24年度 実績	平成25年度 実績
特別企画展（微隆起線文土器） 入館者数 2,337人 特別展（市内四高校） 入館者数 1,823人 館外企画展示「須坂きのこ展」 入館者数 773人 特集展示（堀家の雛人形など） 入館者数 1,210人 博物館「まゆぐら分館」開館（4月1日より）	特別展（山下家秘蔵資料） 入館者数 1,588人 館外企画展示「須坂きのこ展」 入館者数 678人 上杉景勝書状修復・特別公開 入館者数 455人 特集展示（堀家の雛人形など） 入館者数 1,634人 小・中学生入館料改定（30～50円を無料に）
平成26年度 予定	平成27年度 予定
市制施行60周年記念特集展（寄贈品展） 特別展（能面） 館外企画展示「須坂きのこ展」 特集展示（堀家の雛人形など）	

指標名	博物館年間利用者数				
算式	8000				
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標			8,000	8,000
	実績	10,036	120,101	7,311	
指標選定の理由	常設展示の充実を図るとともに、特別展示等を行い、市民が歴史・文化・芸術に親しむ機会を提供する。				
最終年度目標の根拠	平成21年度実績値の約30%増				
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		12,514	14,427
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	219	0
	地方債	0	0
	その他	646	646
一般財源		11,649	13,781
人員数(人)	正規職員	0.9	0.9
	嘱託職員	1.9	1.9
	臨時職員	0.3	0.3
人員コスト	正規職員	6,172.2	6,172.2
	嘱託職員	5,177.5	5,177.5
	臨時職員	353.1	353.1
	計	11,702.8	11,702.8
市民一人当たりの経費		0.5	0.5
総額		24,216.8	26,129.8

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	546	講演会・講座等講師謝礼、展示品借用・指導等謝礼
11節 需用費	2,529	特別展示等消耗品、ポスター・チラシ等印刷
13節 委託費	764	館内警備保障委託、製糸機械清掃委託、収蔵資料修復委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	153	博物館協議会負担金(全国・北信越・県)、きのこ展共催負担金
その他	8,522	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	635	講演会・講座等講師謝礼、展示品借用・指導等謝礼
11節 需用費	3,419	特別展示等消耗品、ポスター・チラシ等印刷
13節 委託費	337	館内警備保障委託、製糸機械清掃委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	153	博物館協議会負担金（全国・北信越・県）、きのこ展共催負担金
その他	9,883	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	市民が歴史・文化・芸術に親しむための機会として、常設展をはじめとする展示活動及び講座活動を開催し、市民の生涯学習を推進する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	平成25年度の年間利用者数減少の主要原因は、館外で行う講座（八丁鎧塚まつり、臥竜山たんけん等）が、雨天・荒天により中止となったことによる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	県元気づくり支援金を活用し、平成29年度に実施予定の堀直虎没後150周年記念事業に向けて、須坂藩の歴史や堀直虎の業績を再評価する紙芝居の作成および上演を行った。（上演：蔵の町すざか昔を語る会）	

振り返り（決算年度の取組み課題）

平成25年度より小中学生の博物館入館料を無料としたが、小中学生の利用者数を増やすことはできなかった。地域の歴史・文化を学ぶ拠点として市内小中学校との連携を一層強化し、小中学生に更に認知されるようにするとともに、博物館が小中学生の学習の場として有効に機能するように、より一層、展示方法等を工夫する必要性を感じている。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
市民が市の歴史や文化財等に対する理解や関心を深め、自ら学び活動する生涯学習の拠点施設のひとつとして重要である。	

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
2次評価コメント	
小中学校との連携を図りたい。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	